

ちば 県議会だより NO.145

党派別議員数	
自民党	51人
民主党	13人
公明党	7人
市民ネット・社民・無所属	4人
共産党	3人
みんなの党	3人
千葉県民の声	2人
生活	1人
いんば無所属の会	1人
共生	1人
定数95人	現員86人
(平成26年12月19日現在)	

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043 (223) 2523 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

あけぼの山 農業公園(柏市)

撮影: 木村 順一



毎年4月、あけぼの山農業公園に大チューリップ畑が現れます。写真右側外には、この公園のシンボリックな存在となっている風車があり、それを取り囲むように、優雅な曲線を描いてチューリップが植えられており、人々の憩いの場所となっています。夏にヒマワリ、秋にはコスモスが咲き、季節ごとに彩りを変えて楽しませてくれます。

アクセス

バス: ①JR我孫子駅北口の阪東バス乗り場で「あけぼの山公園入口行き」に乗り約15分、終点下車。徒歩7分。②JR柏駅西口の東武バス乗り場で「布施弁天・三井団地行き」に乗り約30分、土谷津入口下車。徒歩8分。※②は本数が少ないので注意
車: 常磐道「柏IC」から約8km。(園内無料駐車場あり)

休園日 月曜日(月曜休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日から1月4日まで)
問い合わせ先 【あけぼの山農業公園事務所】
04-771-0301 88077 FAX 04-771-0201-5195

ホームページ <http://www.akebonoyama-nougyoukouen.jp/index.htm>

十二月定例会県議会の あらまし

十二月定例会県議会は、十二月二十六日に招集され、十二月十九日までの二十四日間にわたり開催されました。開会日には、議長の諸般の報告に続き、平成二十六年度千葉県一般会計補正予算等の議案二十三件、報告三件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

その後、選挙関係の補正予算案、一議案が先議となり、付託された議案について審査するため、総務防災常任委員会が開催され、再開された本会議において、総務防災常任委員長の審査結果報告が行われ、採決の結果、原案のとおり可決されました。

十二月三日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十一名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、経済問題、環境問題、福祉対策、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、十二月十五日及び十六日に開催され、付託された議案・請願について、具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、決算審査特別委員会の委員長報告、討論が行われ、採決の結果、平成二十五年年度決算は認定されました。

続いて、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

その後、上程された議員発議案(意見書)について、十八件のうち六件を可決し、今定例会に付議されたすべての案件の審査を終了しました。

「決算審査特別委員会」を開催



9月定例会県議会において設置された決算審査特別委員会は、平成25年度決算認定についての付託を受け、10月から12月まで8回にわたり審査を行いました。



公明党
藤井 弘之 議員
(松戸市)



民主党
田中 信行 議員
(千葉市若葉区)



自民党
江野澤 吉克 議員
(袖ケ浦市)

十二月三日(水)

代表質問

※質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

- 地方創生の推進
- 大規模災害時の応援受入対策
- 千葉県子ども・子育て支援事業支援計画
- 有害鳥獣対策
- 中小企業支援
- 教育行政

- 財政問題
- 繰越金
- 地下水汚染
- 千葉県社会福祉事業団
- 県職員の再就職
- ヤード条例

十二月四日(木)

- 3・11を風化させない事業
- 資金管理
- 一部事務組合の見える化
- 都市水害・不明水対策
- 学校施設の災害対策
- スマートフォン対応の情報発信

千葉県議会ホームページ

県議会情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

主な掲載内容

- 県議会議員の紹介
- 傍聴のご案内
- インターネット中継(ライブ・録画)
- 本会議及び予算委員会(過去3年分視聴可)
- 会議録検索
- 会議の概要
- 議会図書室の利用案内

千葉県議会ホームページで動画配信中

スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



〈ホームページアドレス〉
<http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

または、検索サイトで

千葉県議会 を 検索 してください。

代表質問から



財政

問 現時点で、平成二十七年の収支見通しをどのように見込んでいるのか。

答 平成二十七年当初予算の要求段階では、歳入においては、平成二十六年四月に実施された消費税率の引き上げ効果が、おおむね平年度化することによる県税収入の増などで、平成二十六年当初予算に対し、七百九十億円程度の増額となっている。

問 財政健全化計画は、平成二十五年から平成二十八年の四年間の財源不足額を見通した上で、自主財源の確保や新たなニーズに対応した歳出の見直しなど、財源確保の取り組み目標を掲げている。

答 財政健全化計画は、平成二十五年から平成二十八年の四年間の財源不足額を見通した上で、自主財源の確保や新たなニーズに対応した歳出の見直しなど、財源確保の取り組み目標を掲げている。

一方、歳出においては、社会保障費や地方消費税に係る市町村への交付金などの義務的経費の増加等により、対前年で、一千四十億円程度と大幅な増加となっており、全体では、収支差が二百五十億円程度生じる見込みである。

今後、消費税率一〇%への引き上げの延期に伴う社会保障制度や地方交付税などへの影響も含めて、歳出・歳入のさらなる精査を行うとともに、収支差については、事務事業の一層の見直しや基金の活用等により、財源確保を図っていききたい。

問 財政健全化計画のローリング(時点修正)では、四年間の財源不足額を三百三十億円まで縮小したとされていたが、基金の積立額や平成二十六年の税収予測等を考慮すると、財源不足は解消されているため、現計画を終了し、基金の積立額や新たな税収予測等を盛り込んだ新たな計画を策定すべきと思うがどうか。

答 財政健全化計画は、平成二十五年から平成二十八年の四年間の財源不足額を見通した上で、自主財源の確保や新たなニーズに対応した歳出の見直しなど、財源確保の取り組み目標を掲げている。

地方創生

問 県は、地方創生にどのように取り組んでいくのか。

答 人口減少に歯止めをかけるとともに、人口減少社会においても持続可能な社会を維持していく地方創生は、県としても重要な課題である。

地方創生を確実に実現していくためには、一過性の対症療法的なものではなく、地域を支える産

業の振興、若い世代の雇用の確保、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援や時代に合ったまちづくりなどに、総合的に取り組んでいくことが必要である。

そのため、今後策定される国の総合戦略を踏まえつつ、平成二十七年の早期に、人口の現状や見通しを示すビジョンとともに、千葉県総合戦略を策定し、人口減少対策や地域の活性化を進めていく。

スマホ対応の情報発信

問 スマートフォンに対応した広報について、どう取り組んでいくのか。

答 県ホームページでは、現在、パソコン向けと携帯電話向けのページを作成しているが、スマートフォンで閲覧した場合、デザインや操作性、情報量等の点で利便性に欠ける状況にある。

そこで、平成二十七年において、最新の日本工業規格への対応等を目的として行う全面リニューアルに合わせ、スマートフォン専用のページを設ける予定であり、現在、作業を進めている。

今後、スマートフォンによる利用状況等を踏まえて、より見やすく、わかりやすいホームページづくりに努めていく。

災害対策

問 災害発生時にボランティアを掌握し、その活動をコーディネートする機能を強化すべきと思うがどうか。

答 災害発生時に、県内外から集まるボランティアの活動が円滑に行われるためには、ボランティアと被災地をつなぐ、コーディネー

トの機能が重要である。このため、県や市町村及び社会福祉協議会などの関係団体では、ボランティアコーディネーターとしての役割を担う、災害対策コーディネーター等の養成に取り組んでいる。

また、県内のボランティア関係団体でも、県や市町村の防災訓練に参加するとともに、独自にボランティアセンター運営訓練を実施するなど、災害時の対応能力の向上を図っている。

今後、県・市町村・関係団体等が連携しながら、災害時にボランティアが円滑に活動できるよう、コーディネート機能の強化に努めていく。

ヤード適正化条例

問 本条例のねらいは、どのようなところにあるのか。

答 この条例は、いわゆる不法ヤードを解消し、県民の安全・安心な生活の確保を図るため、鋼板等に囲まれたヤードにおける自動車部品の保管等について、一定の規制を設けるものである。

具体的には、条例に基づく立ち入りを可能とするともに、盗難品の取引を防止するため、相手方の確認や記録の作成の義務付けなどにより、県内ヤードの適正化を図ることとしている。

問 不法ヤードの解消に向けてどのように取り組み、本条例の実効性確保を図っていくのか。

答 県では、これまで関係機関と連携し、任意の立ち入りを実施するなど対応を図ってきたが、相手方の同意が必要ことから、必ずしも十分とはいえない状況にあった。本条例の施行により、条例に基

づく立ち入りが可能となることから、今後は、県内のヤード全てを対象に、順次、立ち入りを実施し、違反行為を確認した場合には、是正の勧告を行うほか、勧告に従わない等の悪質な者に対しては措置命令を発出するなど、厳正に対処していく。

なお、条例では、立入検査の際、必要に応じて県警への援助を求めることができるとしており、県警とも密に連携しながら対応していく。

有害鳥獣

問 有害鳥獣の捕獲について、さらに強化すべきと思うがどうか。

答 平成二十六年五月の鳥獣保護法の改正により、これまでの市町村による鳥獣捕獲対策に加えて、新たに都道府県が認定した事業者に委託して捕獲事業を実施することができると創設された。

このため、県では、新たな捕獲制度の前提となる「鳥獣の管理計画」の策定を鋭意進めている。また、同制度に基づく捕獲の強化に向けて、地域に精通した猟友会や市町村などを構成員とした協議場の場を設け、平成二十六年十一月から検討を始めている。

今後、これまでの対策を推進するとともに、新たな制度を活用しながら、捕獲体制の強化を図っていく。

中小企業支援

問 県内の中小企業を取り巻く経済情勢を踏まえ、どのように取り組んでいくのか。

答 県では、小規模企業振興基本法の制定や圏央道など道路網整備の進展などを踏まえ、第三次

ちば中小企業元気戦略を策定し、成長段階に応じた伴走型の支援や、女性やシニアが起業・創業しやすい環境づくりなどの方向性を示した。

今後、中小企業にとって身近な存在である経済団体や税理士等と連携するとともに、ちば中小企業元気づくり基金の支援メニューの充実などにより、支援を必要とする事業者が積極的に活用できるように取り組んでいく。

さらに、現在、国において検討されている地方創生に関する事業と連携した経済対策についても、今後検討を進めていく。

地下水汚染

問 地下水汚染の一番の原因である農業における施肥のあり方について、適正施肥の指導及び効果はどうか。

答 県では、生産性の向上を図りつつ、環境への負荷を軽減するため、作物別に基準施肥量を示した主要農作物等施肥基準を定め、適正施肥の普及に取り組んでいる。

この基準の具体的な運用にあたっては、生育診断や土壌診断を行い、ほ場の状態に応じた適正な施肥量を把握し、過剰な施肥を行わないよう指導している。

さらに、環境にやさしい農業の拡大に伴い、有機質肥料や家畜ふん堆肥の使用が増えていることから、これらを含めた最適な施肥量を計算するシステムを開発し、普及を図ってきた。

その結果、システムの利用者は年々増加し、現在、農協など百五十九の団体等で活用されており、今後も、これらの取り組みを積極的に推進し、適正施肥の指

資金管理

問 基金の一括運用をすべきと思うがどうか。

答 基金の運用については、各課で行っている運用を、一つの部署でまとめて行うことにより、資金の効率的な運用による運用益の増加や事務効率の改善が期待できる。

本県では、出納局を基金の一括運用を行う部署とし、平成二十七年からの実施に向けて、現在、基金所管課と連携を図り、全庁横断的に資金を一本化した預金の運用を始めるなど準備を進めている。

教育

問 特別支援学校の平成二十七年五校開校により、どのような効果が見込まれるのか。

答 平成二十七年に特別支援学校五校を新設することにより、概ね五百名の児童生徒の受け入れが可能になることから、既存校の過密状況が緩和されるとともに、スクールバスの乗車時間短縮につながるかと考えている。

現在、円滑な開校に向けて、児童生徒や地域の状況に十分配慮しながら、一人一人が生き生きと学ぶことができるよう、魅力ある教育課程の編成や施設整備などの準備を進めている。

なお、矢切特別支援学校は、入札不調により改修工事が遅れることとなったため、来年度一学期は、つくし特別支援学校で授業を行い、二学期から新校舎を使用することとした。



総務防災常任委員会

問 本県は海に囲まれており、観光地が多いため、津波が発生した場合、ソフトとハード両方で住民や観光客等の命を守らなければならないが、津波避難タワーの整備についてはどう考えているのか。

答 津波からの避難については、高台などの安全な場所へ迅速に避難することが重要となる。現在、市町村において津波避難場所や避難道路等を指定するとともに、津波避難ビルの指定など、さまざまな対策が図られている。

津波避難タワーの整備についても、高い建物がない地域においては、住民や観光客等の避難場所として、有効な避難対策の一つと考えている。

総合企画水道常任委員会

問 羽田空港の航空機騒音について、北側ルートの高度引き上げの試行運用の状況は、どのようになっているのか。

また、今後はどのように改善するのか。

答 国土交通省からは、「試行運用については、技術面・安全面から一年程度の検証が必要であり、その結果を受け、平成二十七年春の本運用を目指して

いる。また、さらなる騒音軽減に向けて、低騒音化や技術進展に合わせて引き続き検討を進める。」との回答があった。県としても、試行運用の高度引き上げでは、騒音軽減策として十分ではないと認識していることから、引き続き、国に改善を求めていく。

健康福祉常任委員会

問 千葉県社会福祉事業団問題等第三者検証委員会の最終報告で提言された、事業団が実施する自主事業の移譲について、現在の利用者へのサービス提供や、職員の雇用に問題が生じないように移譲すべきと考えるがどうか。

答 移譲に当たっては、利用者の障害特性や支援方針等を把握するとともに、保護者に対する丁寧な説明等が必要となることから、十分な引継期間を設けることにしている。

環境生活警察常任委員会

問 現在、見直し作業を進めている千葉県環境基本計画において、新たに再生可能エネルギーの本県における導入目標値を設定すると聞いているが、具体的にはどれくらいなのか。

答 本県における再生可能エネルギー発電設備導入量として、

商工労働企業常任委員会

問 景気の回復感が中小企業に浸透するまでには、まだ時間がかかると思うが、県内の中小企業に対して新たな支援策はあるのか。

答 県では、起業・創業が生まれやすい環境づくりや、伴走型で販路を開拓する支援などを盛り込んだ第三次ちば中小企業元氣戦略を、平成二十六年十一月に策定した。

農林水産常任委員会

問 米価の低迷対策として、飼

県土整備常任委員会

問 北千葉道路の印西・成田間の工事の進捗状況はどうか。

答 北千葉道路については、印西・成田間について、現在、国と県で工事を進めている。I期区間として、印西の千葉ニュータウンの東端から国道四〇八号

文教常任委員会

問 車いすバスケットボールによる体育館使用のデモンストラーションの結果はどうか。

また、その結果を今後どのように活かしていくのか。

答 床に小さな傷やへこみが確認されたが、他の団体の利用に支障をきたすものではないことから、総合スポーツセンターにおいては、車いすバスケットボールの利用制限はしないこととした。また、ほかの施設でも利用が進むよう、この結果を県立学校に説明するとともに、市町村に対しても周知していく。

「予算委員会」の設置

2月定例県議会において県の新年度予算及び関係する議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。

平成26年度予算委員会委員名簿 (平成26年12月19日現在)

Table with 3 columns: Party, Name, Position. Lists members of the 2014 budget committee across various parties including Liberal, Democratic, and others.

平成27年2月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

Calendar table showing dates from Feb 13 to Mar 13, with columns for '議事・委員会予定' and '開議予定時間'.

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。

TV ...「チバテレビ」での生放送があります。ぜひご覧ください。

可決された議案 (平成二十六年補正予算関係(五件)) and 可決された意見書. Lists various resolutions and opinions on topics like road construction, disaster prevention, and education.

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

十月四日(木)



自民党 吉本 充 議員 (富津市)

富津市の財政破綻報道
医療問題(君津中央病院の整備
拡充)
情緒障害児短期治療施設
中核地域生活支援センター



千葉県民の声 プリティ長嶋 議員 (市川市)

ちば野菊の里浄水場付近の環境
整備
市川広小路交差点工事
ビル風による風害
AED

十月五日(金)



自民党 今井 勝 議員 (我孫子市)

子ども・子育て支援新制度の実
施に向けた財源確保
特別養護老人ホームの整備促進
手賀沼終末処理場の安全対策
(下水道の汚泥焼却灰)
治水対策



市民ネット・社民・無所属 藤原 政夫 議員 (鎌ヶ谷市)

原発事故に係る健康診断の実施

十一月八日(月)



千葉県民の声 佐藤 浩 議員 (船橋市)

いじめ防止対策推進条例
船橋オートレース
コンビニ防犯ボックス
東葉高速鉄道



共 生 湯浅 和子 議員 (松戸市)

情報公開と県民参加
介護保険
子ども、女性の貧困
教育問題



自民党 實川 隆 議員 (山武郡)

農業問題
道路問題
養護老人ホームの入所率向上
成田空港活用協議会



公明党 阿部 俊昭 議員 (柏市)

障がい者用等の駐車場
チーパス事業
農作業事故ゼロを目指して
総合学科の推進



自民党 石橋 清孝 議員 (東金市)

成田空港への南側からの高速道
路計画

十一月九日(火)



自民党 関 政幸 議員 (千葉市緑区)

いじめ防止対策推進条例制定後
の取り組み
外房有料道路の利便性強化と安
全対策
カラス等の有害鳥獣対策
訪問看護師育成等の在宅医療推
進



自民党 山中 操 議員 (千葉市若葉区)

自転車事故
動物愛護条例
千葉県信用保証協会における中
小企業支援
拒食症



自民党 伊藤 昌弘 議員 (佐倉市)

印旛沼周辺の浄化槽の整備状況
と法定検査
印旛沼周辺の治水対策
飼料用米の取り組み状況
国道二九六号八千代バイパスと
県道佐倉印西線田町バイパスの
進捗状況



自民党 伊藤 和男 議員 (香取市)

千葉県未来
の課題
農業問題
医療問題

看護師不足対策
東千葉メディカルセンターへの
支援
健康寿命の延伸

十一月十日(水)



自民党 中台 良男 議員 (四街道市)

教育委員会制度改革
保育の充実など子育て支援
人口減少を踏まえた拠点づくり
和食を使った各種施策の推進



自民党 信田 光保 議員 (銚子市)

農林水産業振興
観光振興
道路問題
医療・福祉問題



自民党 坂下 しげき 議員 (市川市)

県民が望む政策を実現するため
の財政運営
誰もが安心していきいきと暮ら
せる街づくり
都市農業・現代産業科学館・旅
券事務移管
都市機能の維持・強化



民主党 中田 学 議員 (柏市)

手賀沼周辺の課題
柏市立柏病院の移転



自民党 阿井 伸也 議員 (大網白里市)

県内水道の統合・広域化
津波対策(復興交付金)事業と自
主防災・防犯組織への支援
医療・介護・福祉問題
生活排水対策



チーバくん

12月定例県議会 知事あいさつ

◎平成26年度一般会計補正予算案

補正額は、59億7,400万余円の増額で、補正後の予算額は、1兆6,355億600万余円となります。今回の補正予算では、人事委員会勧告に基づく職員の給与改定等を行うために必要な人件費を増額します。また、公の施設等について、来年度以降の契約を締結するため、債務負担行為を追加するほか、年度内に終了しないことが判明した事業について、適正な工期を確保するため、繰越明許費を設定するものです。

◎海外出張

10月24日から30日にかけて、総勢100名を超える千葉県ミッション団とともに「オール千葉」体制で台湾を訪問してまいりました。現地では、本県産のお酒をPRする報道関係者向けのイベントや現地旅行者との商談会・本県への投資促進や企業誘致を目的とした千葉県経済セミナーなどを開催するとともに、現地のテレビ番組にも出演し、千葉の魅力を大いにPRいたしました。また、呉敦義副総統をはじめとした政府関係者等との会談に加え、農林水産物の一時輸入停止措置の早期解除の要請や教育旅行の誘致、台湾の主要航空会社に対する成田空港への増便要請などを行い、大変有意義で成果の多い台湾訪問であったと考えています。今後とも、経済発展が著しいアジア地域をターゲットにトップセールスを展開するとともに、本県との活発な相互交流が行われる環境づくりを進めてまいります。

◎北千葉道路

北千葉道路は外環道と成田空港を最短で結び、本県はもとより、首都圏全体にとっても大変重要な道路であり、私は以前より北千葉道路全線の早期整備を加速するためには、思い切った発想の転換が必要であると感じておりました。そこで、11月10日、私自ら、太田国土交通大臣に対して、国が責任を持って進め、北千葉道路全線を国の直轄事業として整備するよう要望してきたところです。大臣からは、「連携を取って調整させて頂きたい」との回答をいただきました。県としては、今後も国と県の役割を踏まえつつ、あらゆる機会をとらえて国に対して、北千葉道路の直轄事業化及び早期事業着手を要請してまいります。

◎オスプレイ

10月21日、防衛省から、オスプレイ等の定期整備拠点を陸上自衛隊木更津駐屯地に誘致する国の方針について、理解と協力を求められました。この方針については、国が安全保障について総合的に考慮し、責任を持って判断した結果と認識しております。安全保障は国全体の問題であることから、自治体としても協力する必要があると考えています。しかしながら、オスプレイについては、一部に安全性等に対する不安の声があるため、木更津市とともに10月末、防衛大臣等に対し、徹底した安全対策を行うことなどを要望しました。今後とも、県民の安全や安心を確保できるよう、適切に対応してまいります。



◎東京オリンピック・パラリンピックへの対応

「オール千葉」体制による取り組みを推進するため、官民の代表者による「CHIBA推進会議」を新たに設置しました。今後は、キャンプの誘致や魅力ある観光地づくりなど具体的な施策の展開を官民一丸となって加速してまいります。一方、千葉市や競技団体と共同で誘致活動を進めてきた、リオ・パラリンピック車椅子バスケットボールの、アジア・オセアニア地区予選が、平成27年10月、千葉市で開催されることが決定しました。県では、現在、パラリンピック競技のキャンプ受入体制の整備に取り組んでおり、今回の開催地決定により、県民のパラリンピックへの関心の高まりが期待できるとともに、今後のキャンプ誘致活動にも弾みがつくと考えています。今後とも、東京オリンピック・パラリンピックの成功に向け、さまざまな取り組みを、全县をあげて着実に推進してまいります。

◎ちばアクアラインマラソン

地元木更津市、袖ヶ浦市の皆様をはじめ、関係各位の皆様の御理解、御協力をいただき、無事に大会を開催することができました。あらためて御礼を申し上げます。10月19日の大会当日は、穏やかな秋晴れの中、全国各地から約1万7千人のランナーが集い、青い空と海に囲まれたアクアラインの絶景を走り抜けました。前回は上回る約35万人の方々に応援に駆け付け、切れない熱い声援を送っていただきました。特に、多くのボランティアの姿、地元の小・中学生による元気な応援には、多くのランナーから感激の声が届いています。沿道で応援された方々も、トップランナーや一生懸命に走る市民ランナーの姿に触れることで、スポーツの楽しさや感動を分かち合うことができたのではないかと思います。また、県内各地の「ご当地キャラクター」のパフォーマンスやダンス、グルメやお土産などの物産展は、多くの方々から大変好評で、千葉の魅力を十分に伝えることができたと思います。この大会による成果を活かし、引き続きスポーツ振興を図っていくとともに、千葉の魅力をさらに高め、全国に発信してまいります。そのほか、条例の制定等、議案の概要説明がありました。

県議会傍聴のご案内

議会を傍聴してみませんか。本会議及び各種委員会は、開催当日の簡単な手続で傍聴することができます。詳しくは千葉県議会ホームページの「議会からのお知らせ」をご覧ください。議会事務局総務課(043-223-2509)へお問い合わせください。※傍聴者多数の場合、入場できないことがあります。